

動物は愛情と責任をもち終生飼育を！

～人と動物との共生を目指して～

命ある動物の愛護と適正な飼育についての関心と理解を深めるため、9月20日から26日まで動物愛護週間と定めています。この機会にペットや身近にいる動物たちについても一度考えてみてください。

●動物を飼う前によく考えて

不妊・去勢手術の費用や健康管理など、費用がかかります。また、毎日欠かさずえさを与え、散歩や運動をさせる必要があります。最後まで愛情と責任を持って本当に飼えるかどうか考え特徴や習性、自分の住まいの環境を考えましょう。

●不妊・去勢手術

手術は一度で済み、性質がおとなしくなるなどの利点もあります。猫は、尿スプレーや発情期の独特な鳴き声がなくなるほか、ネコエイズなどによる病気の心配も少なくなります。

犬に関するマナー

①しつけを

「飼い主の制止に従う」、「むだ吠えをしない」、「人や他の動物を攻撃しない」など、しつけは人間と犬が同じ社会の中でうまく暮らしていくために不可欠なものです。「座れ」、「待て」などを根気よく教え、できたらほめてあげましょう。

②散歩にはリード(引き綱)を

公園などでの放し飼いはやめてください。周囲の人に危害を及ぼす恐れがあり、襲われるのではないかと恐怖感を与えます。都条例でも禁止されています。

③ふんは持ち帰る

ビニール袋などを用意して必ず持ち帰りましょう。その場に埋めたり周辺の垣き根や畑地に捨

てたりしてはいけません。おしっこも水をかけるなど配慮をしてくださいます。

猫に関するマナー

①遺棄は違法行為です

無責任な繁殖の結果、生まれた子猫の面倒が見られずに行われる遺棄は、飼い主の身勝手な行為で、遺棄された猫の将来や付近の住民の事は全く念頭にない違法行為です。これを防ぐため、不妊・去勢手術をしましょう。

②飼育は屋内で

猫は上下運動ができる場所があれば、家の中で飼え、思わぬ事故や伝染病、猫に対する嫌がらせを防ぐことができます。

③野良猫にえさをあげるのは近隣の方への配慮も忘れずに

猫は繁殖力がおう盛でえさをあげるとその場に居つきどんどん増えてしまいます。かわいそうだからとえさだけをあげることには、飼うことのできない同じ境遇の猫を増やすことになります。また、人と人とのトラブルや猫の虐待にもつながりかねません。えさ

をあげるときは、近隣の方へ配慮し、不妊・去勢手術やふんの始末などもしましょう。

※詳しくは、次の担当へ。

*犬の登録・狂犬病予防注射済票の交付、死亡届の提出⇨コミュニティ係

ニテイ係

*飼い犬・猫が死んだときの引き取り(有料)⇨清掃センター ☎541342

*犬の保護・収容、犬・猫の引き取り、犬のしつけ方、犬がいなくなった、飼い犬が人を噛んでしまった、噛まれてしまった、ペットの飼い方相談・指導など動物行政に関すること⇨東京都動

節水啓発ポスターの入賞者を表彰

水の大切さを知ってもらうために、市内の小・中学生から節水啓発ポスターを募集したところ、356点の応募があり、次の方が表彰されました。

〈敬称略〉

◇最優秀賞 落合沙友里(光華小4年)

◇優秀賞 吉村治(東小6年) / 中村史穂(共成小6年) / 石松千晴(水越塔子) / つつじが丘北小4年 / 清水礼奈(昭和2年)

物愛護相談センター多摩支所 (日野市) ☎5817435

「ご寄付ありがとうございました」

〈敬称略〉

◎青少年の健全育成のために
▽10万円⇨国際ソロプチ
ミス昭島

◎市の防災及び福祉関係事業の充実のために
▽1000万円⇨日本航
空電子工業株式会社
(取締役会長 篠崎雅美)

◀最優秀賞作品



☆このほかに、入選20点、佳作20点が選ばれました。

※詳しくは、水道部業務課 ☎5436111へ。